

第109回 2024春 益子陶器市 アンケート分析レポート

アンケート期間：2024年4月27日～2024年5月31日
一般社団法人ましこラボ

1. アンケート概要

2. アンケート結果

3. アンケート調査から見える課題

1. アンケート概要

目的

- ✓ 現地に来訪した観光客から陶器市への要望意見などの情報を収集し、今後の陶器市の施策に活かす
- ✓ 観光庁「オーバーツーリズムの未然防止・抑制による持続可能な観光推進事業」補助金を活用した実施施策の効果検証を図り、秋の陶器市における改善策に繋げる

実施概要

実施主体：一般社団法人ましこラボ

実施場所：益子春の陶器市会場（城内坂周辺）及びInstagram

実施対象：益子春の陶器市の来場者 ※ 益子町内在住者は除く

実施期間：2024年4月27日(土)～2024年5月31日（金）

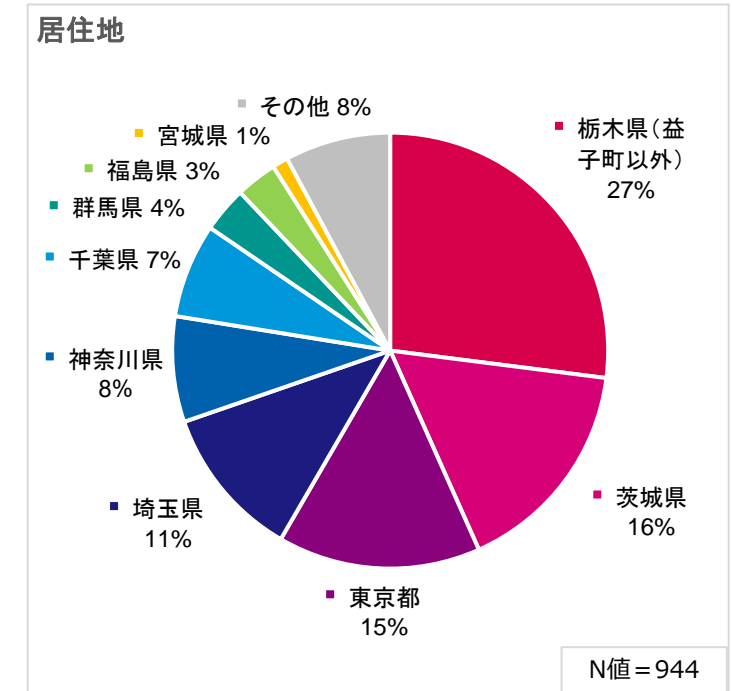
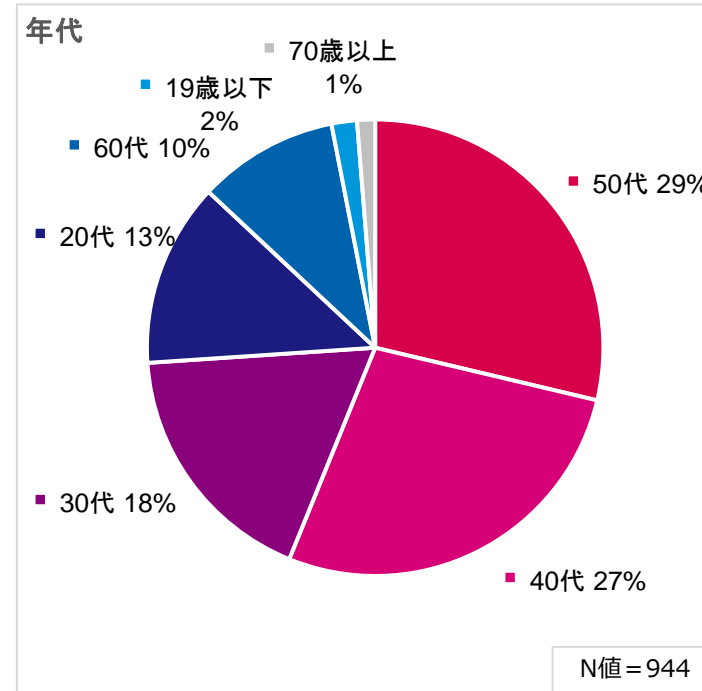
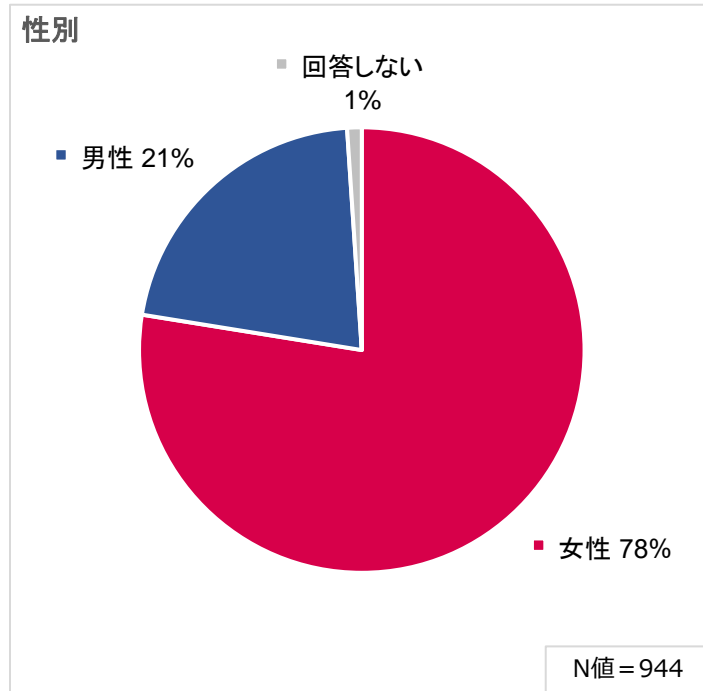
実施方法：Googleフォーム

合計サンプル数：944

2.アンケート結果

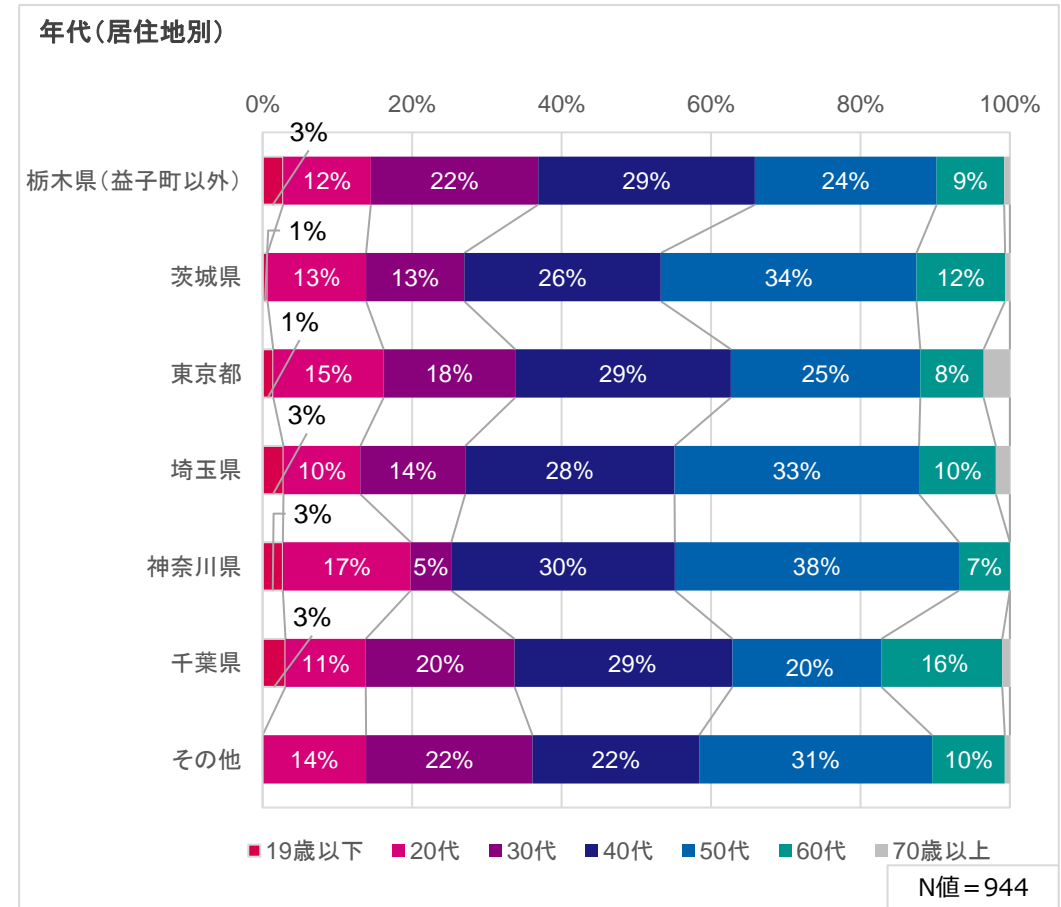
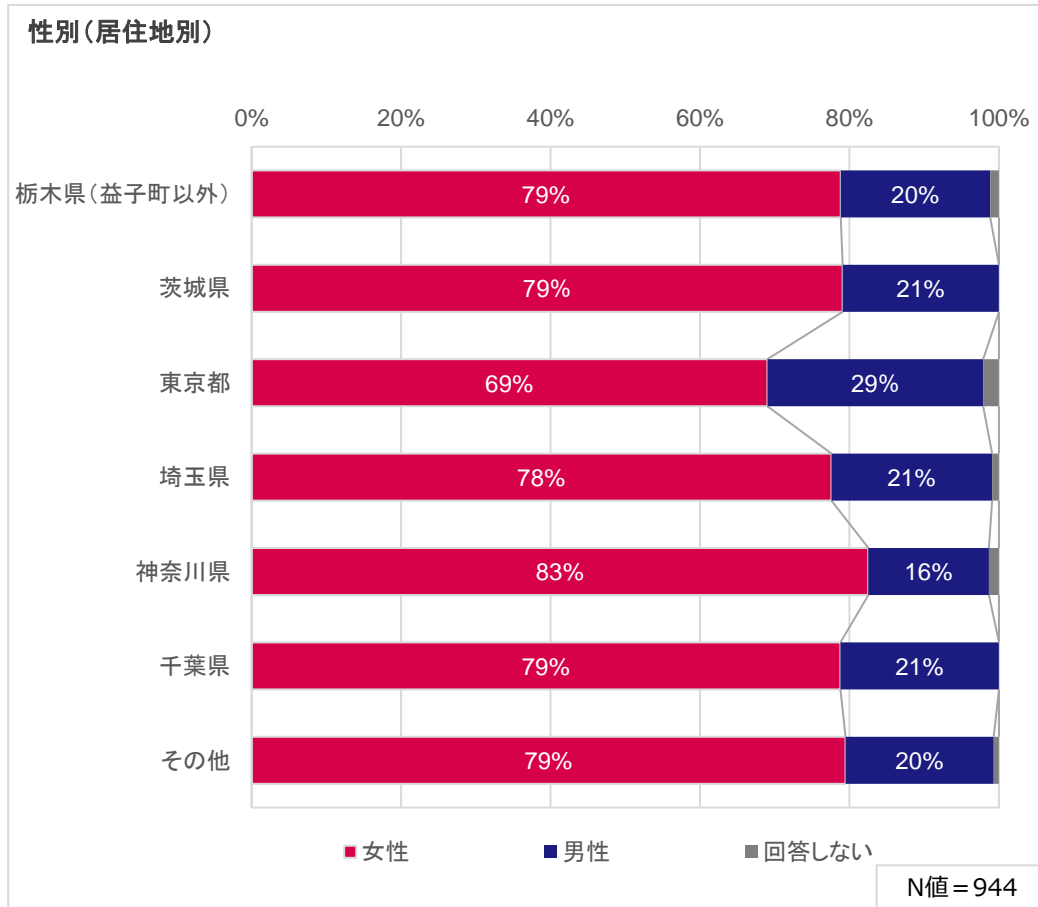
2-1 回答者属性

回答者は女性が約80%を占めている。年代は40～50代が半数以上（56%）を占める。
居住地は栃木県(益子町以外)が27%であり、次いで茨城県(16%)、東京都(15%)と続く。



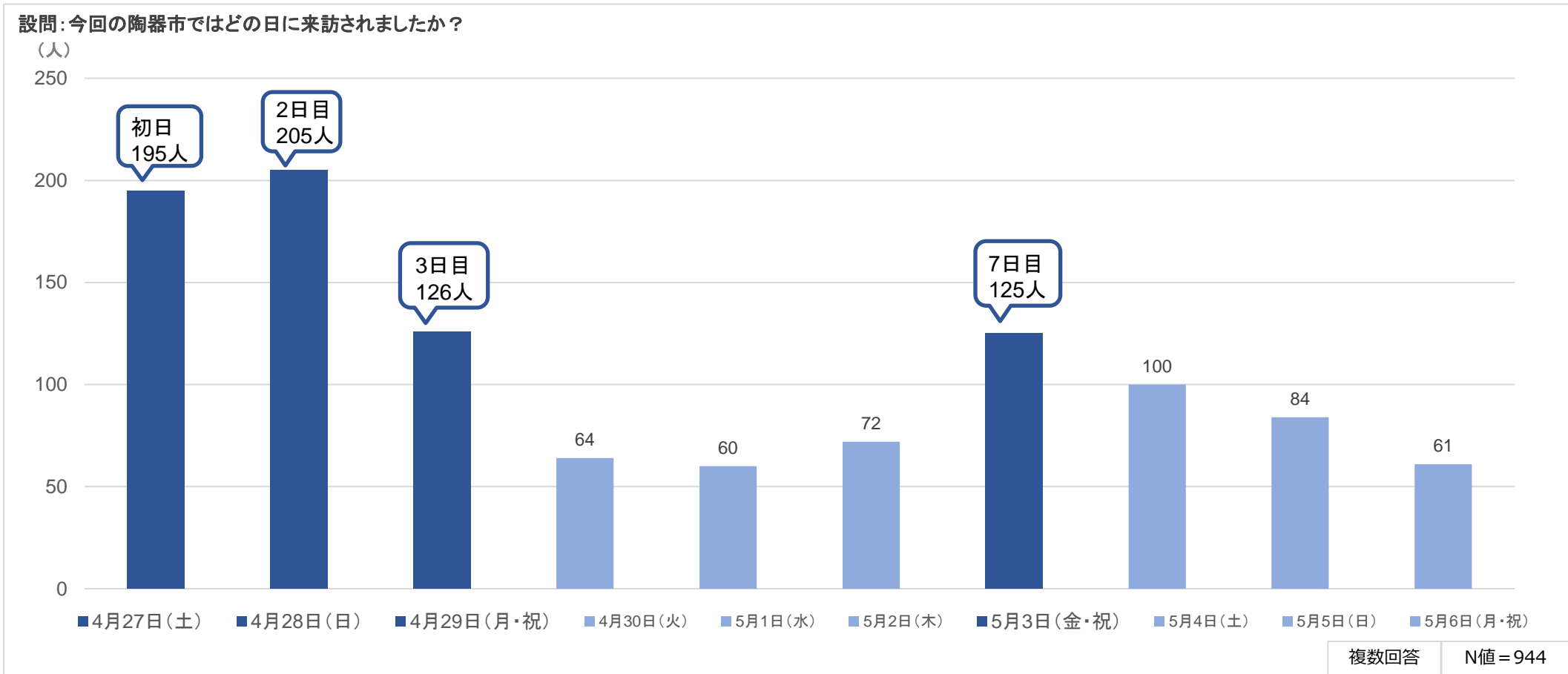
2-2 回答者属性(居住地別)

居住地ごとに性別及び年代を示した表は以下のとおり。



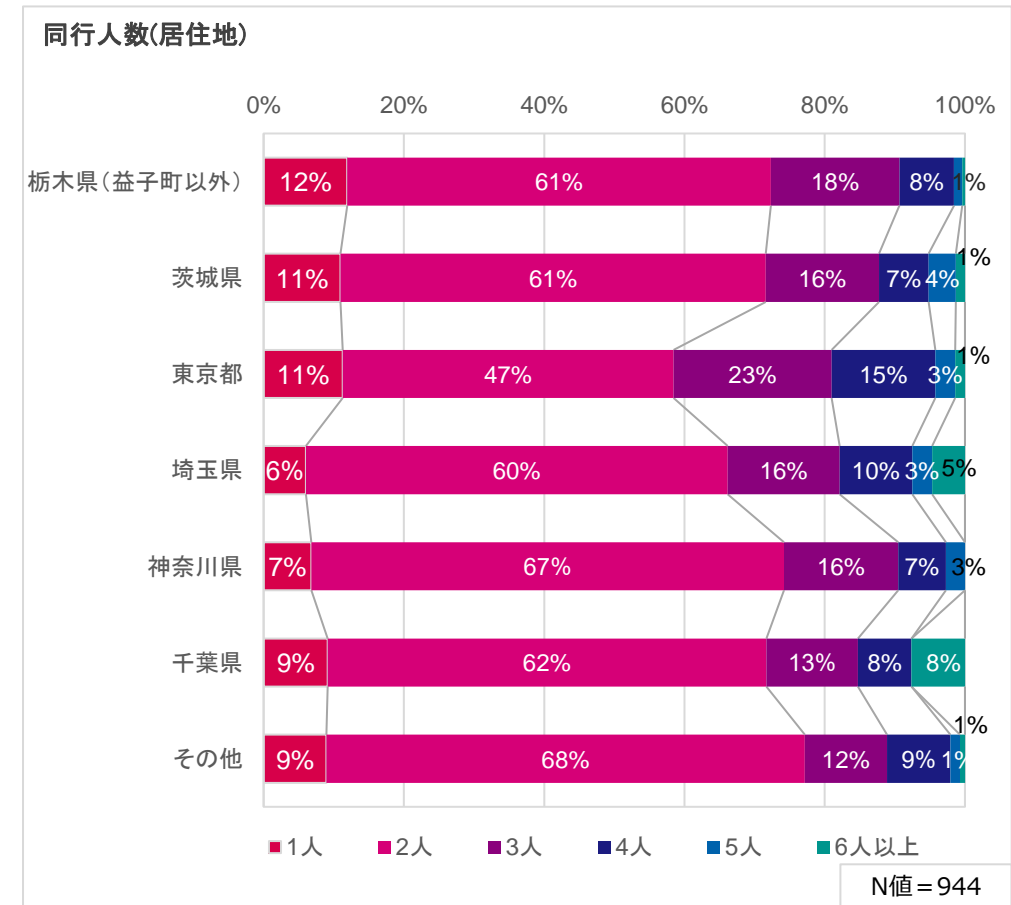
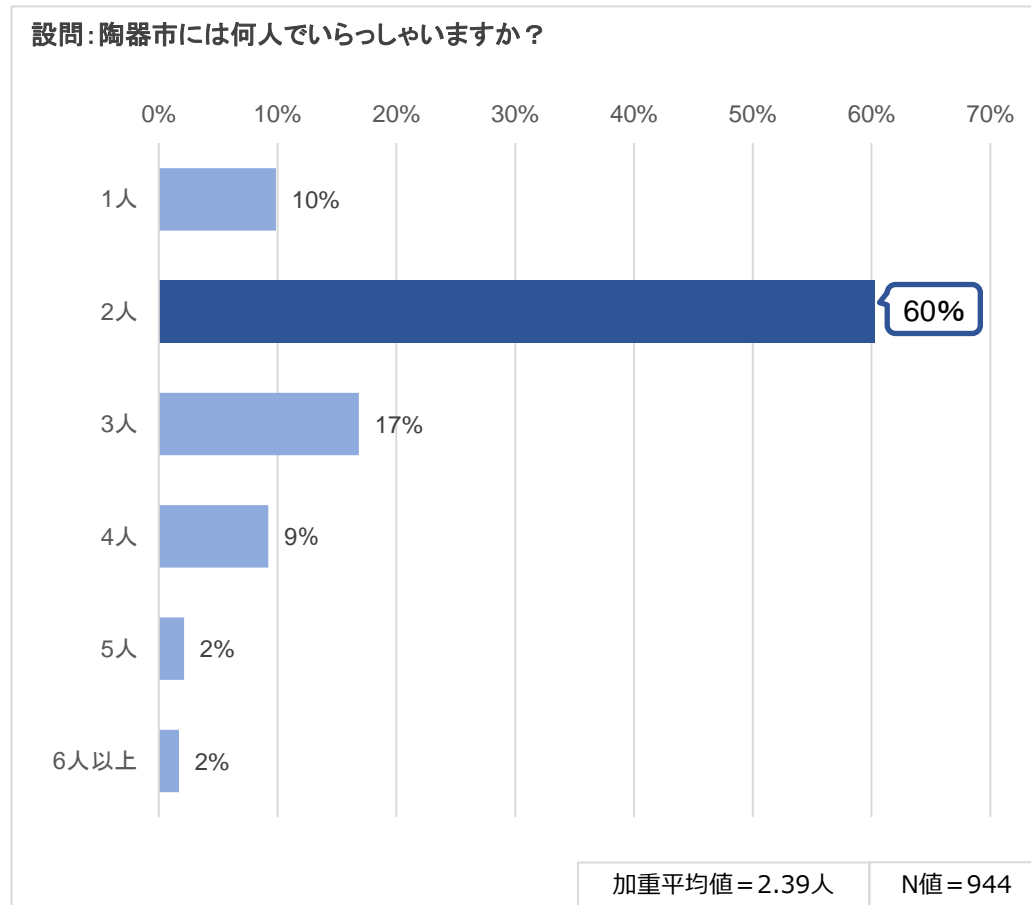
2-3 日別の訪問客数

初日(195人)、2日目(205人)、3日目(126人)、7日目(125人)の順に来客数が多い。



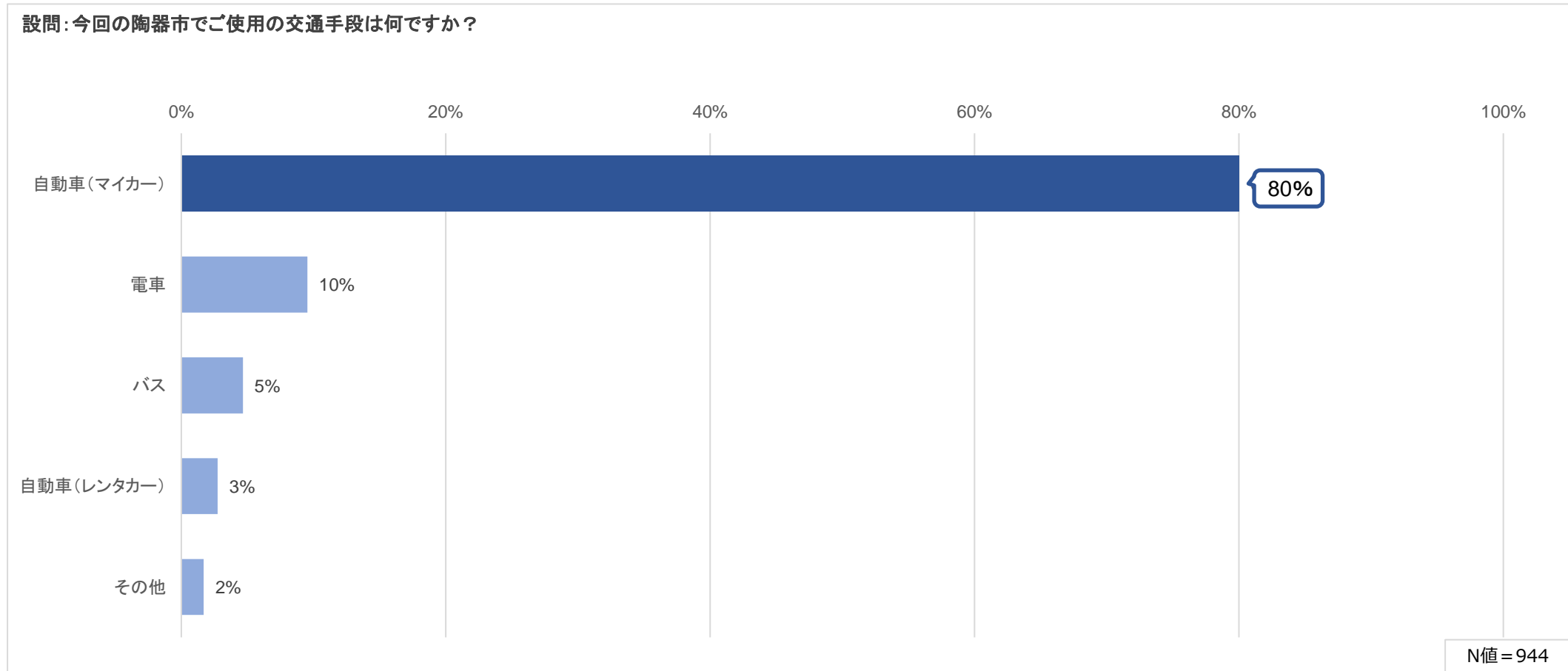
2-4 来訪者単位の人数

来訪者単位の人数は、「2人」(60%)が圧倒的多数を占める。次いで「3人」(17%)、「1人」(10%)の順となっている。
加重平均値は2.39人である。
居住地別でみると、東京都・埼玉県の来訪者単位の人数が他県より多い傾向にある。



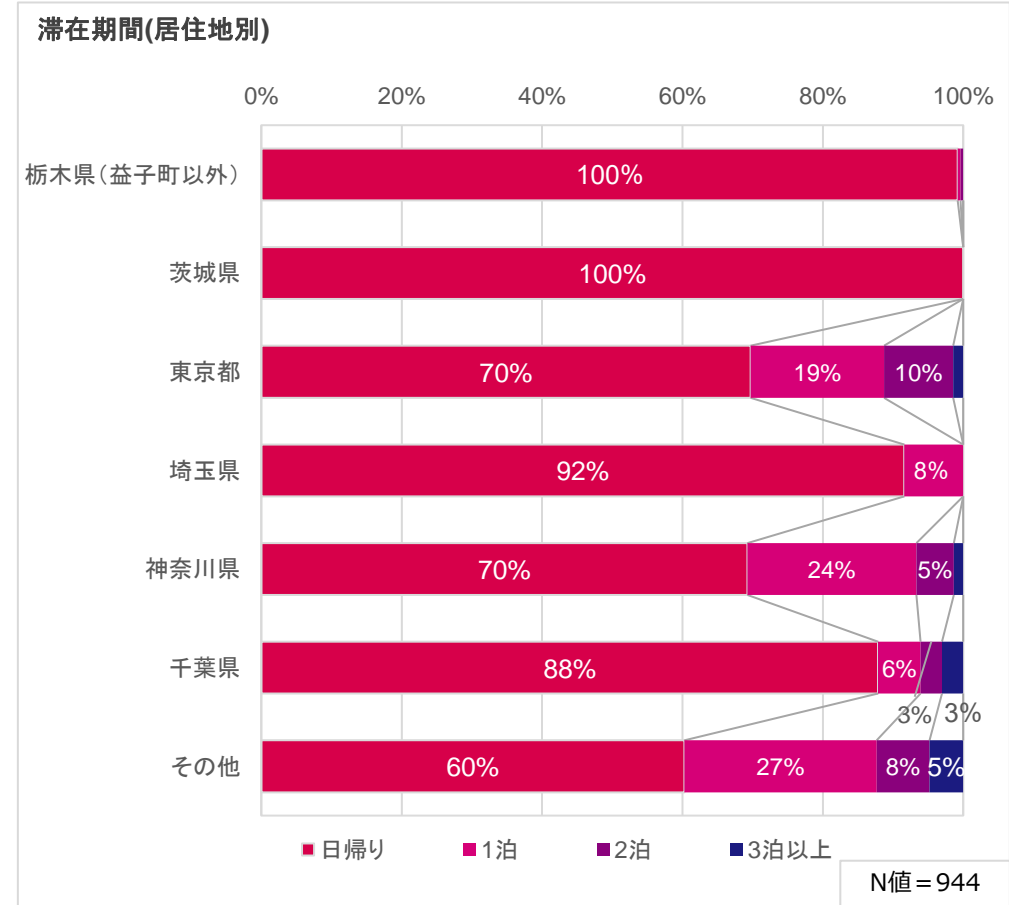
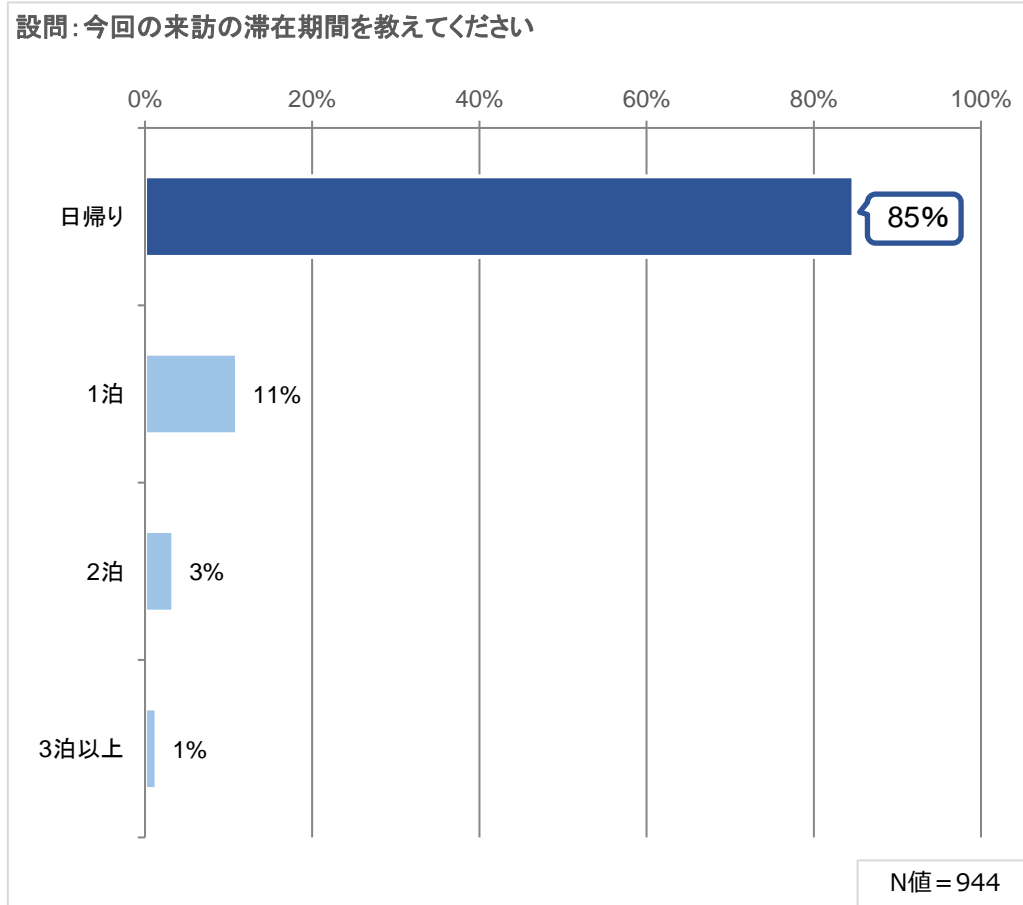
2-5 陶器市の交通手段

陶器市への交通手段は、自動車(マイカー)が8割を占めている。



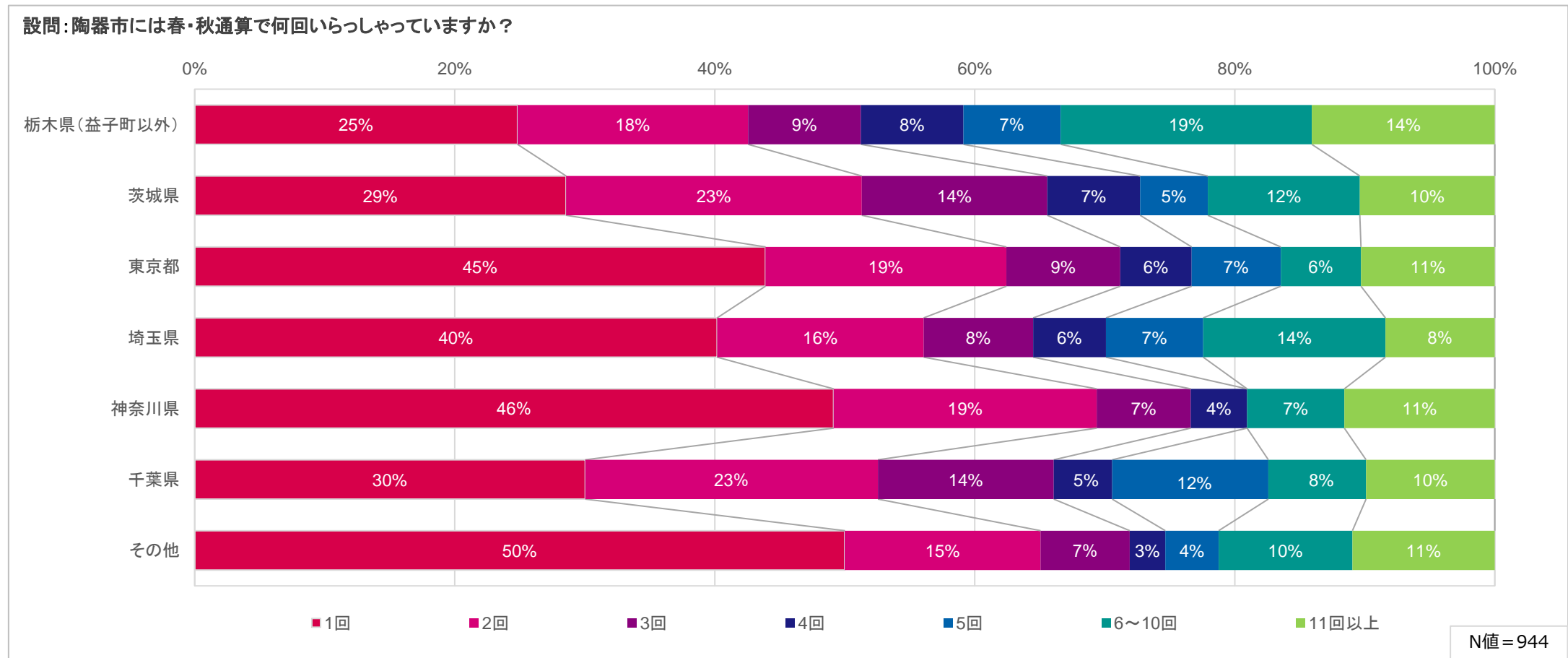
2-6 陶器市の滞在期間

東京都および神奈川県からの来訪者の約30%が宿泊をしており、他県に比べ宿泊率が有意に高い。



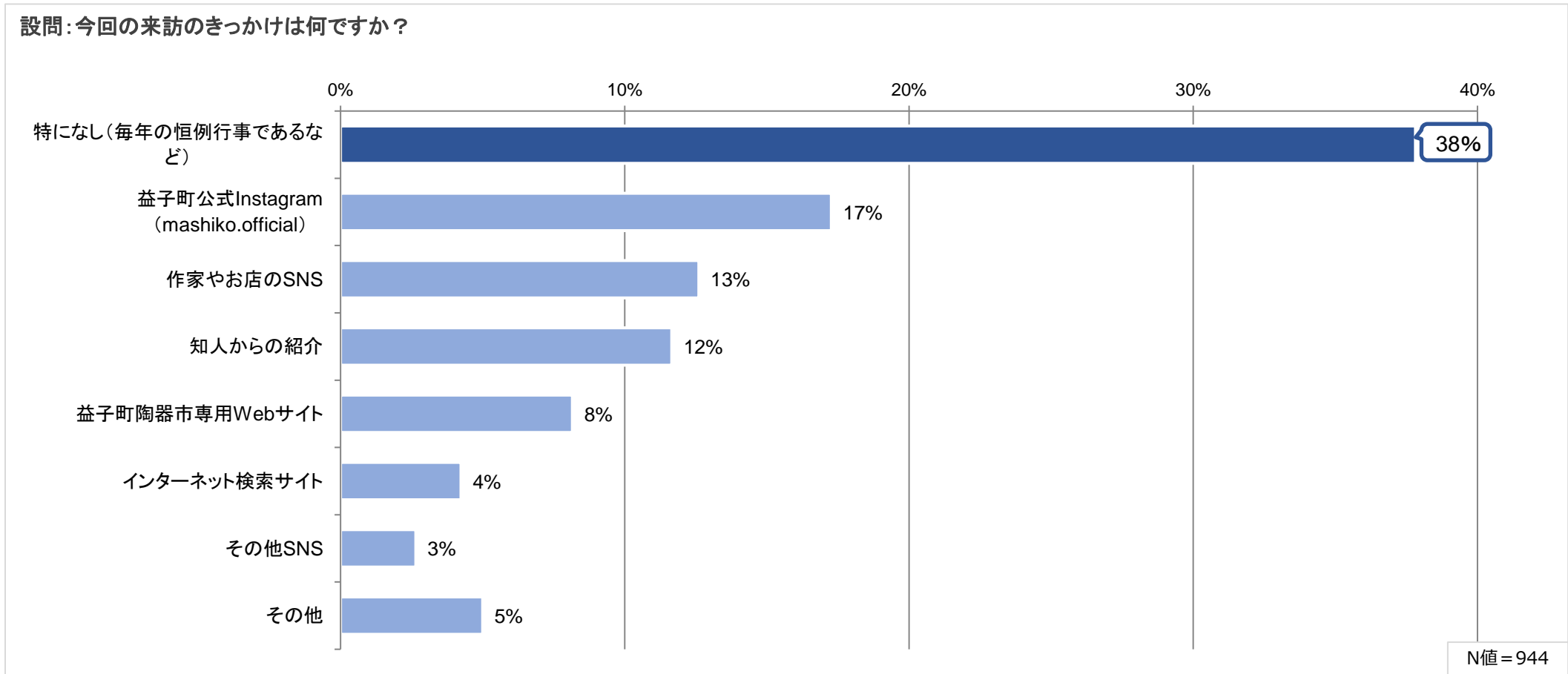
2-7 陶器市の来訪回数

栃木県(益子町以外)・茨城県・千葉県では2回以上来訪しているリピーターが約7割に及ぶ。
一方、東京都・埼玉県・神奈川県・その他は初来訪の割合が高い。



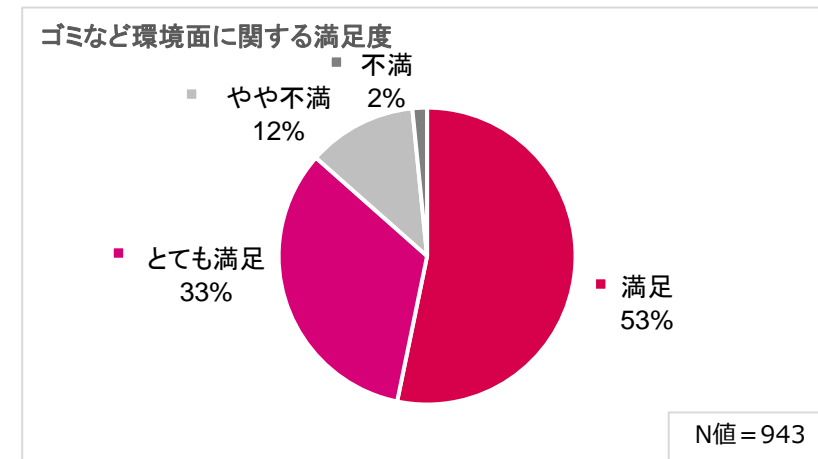
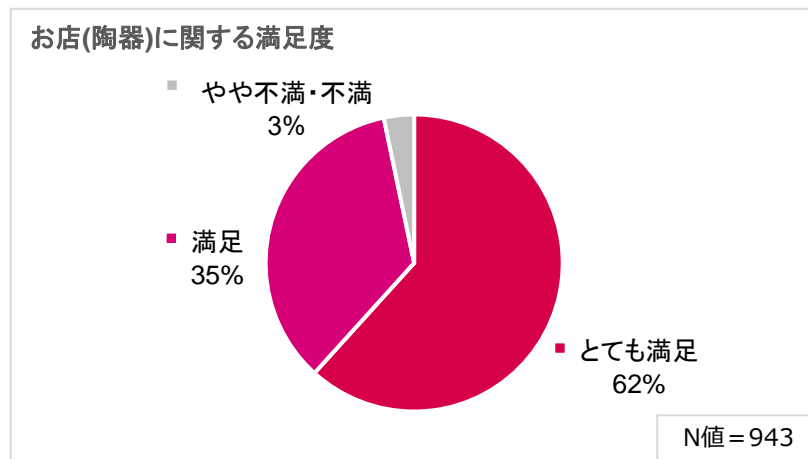
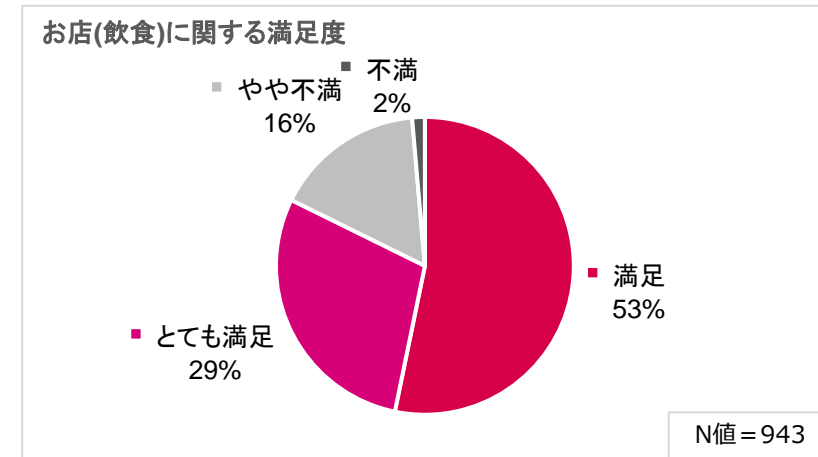
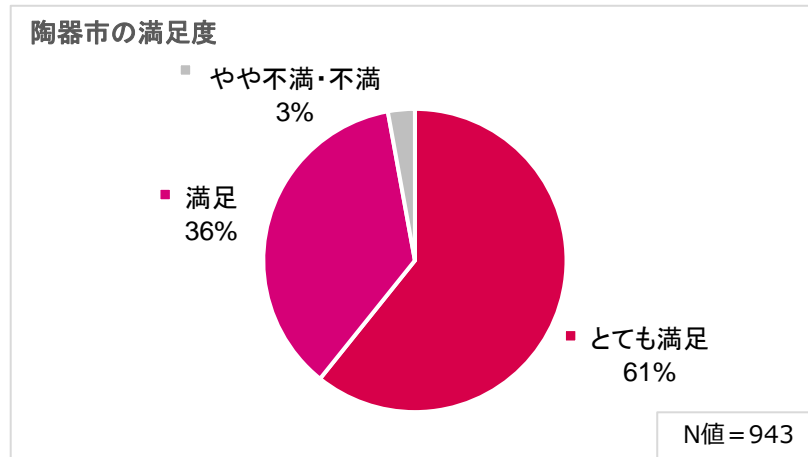
2-8 陶器市来訪のきっかけ

来訪のきっかけとしては「特になし（恒例行事として来訪など）」が38%を占めている。
次いでSNSが30%（町観光公式Instagramが17%、作家やお店のSNSが13%）、知人からの紹介が12%と続く。



2-9 陶器市の満足度

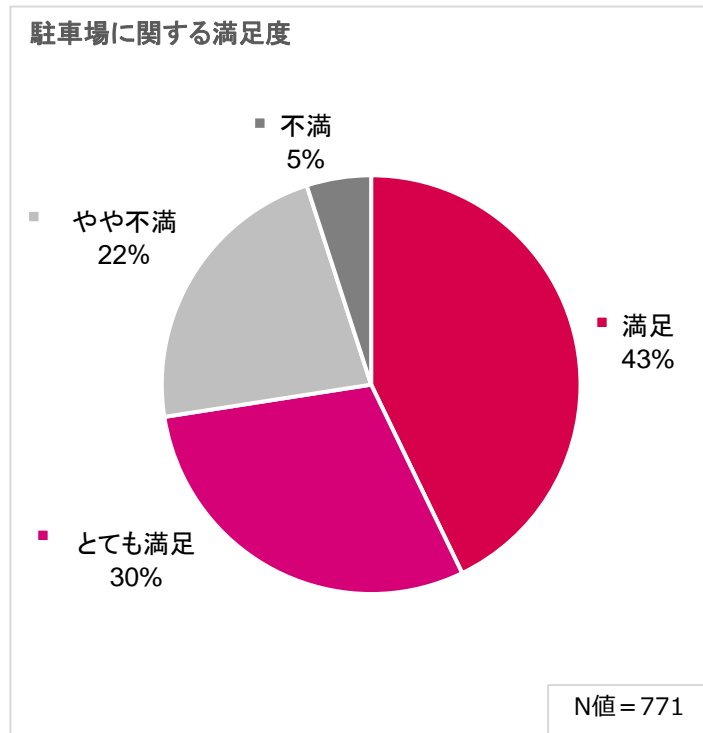
「陶器市（全体）」と「陶器のお店」に関する満足度は、「とても満足」「満足」が97%を占める。
「お店(飲食)」「ゴミなど環境面」に関してはやや満足度が下がる傾向にある。



2-10 駐車場の満足度

駐車場の満足度は、「とても満足」「満足」が73%、「やや不満」「不満」が27%である。

「とても満足」「満足」の主な理由は「駐車場の数が多い」「誘導がスムーズ」「リアルタイム発信の充実」が挙げられる。
「やや不満」「不満」の主な理由としては「駐車料金の値上げ」「会場付近の駐車場が早い段階で満車になる」が挙げられる。



とても満足
(30%)

- ・ 駐車場がたくさんあって便利。スペースも広く停めやすかった(69名)
- ・ シャトルバスがありスムーズに移動できた(27名)
- ・ リアルタイムで駐車場空き状況がわかるのが良かった(22名)
- ・ 警備員の誘導が丁寧で、スムーズに駐車できた(15名)

満足
(43%)

- ・ 滞りなくスムーズに駐車できた (58名)
- ・ 駐車場がたくさんあって便利。スペースも広く停めやすかった(21名)
- ・ 警備員が親切、人数も多くて良かった (20名)
- ・ リアルタイムで駐車場空き状況がわかるのが良かった (12名)

やや不満
(22%)

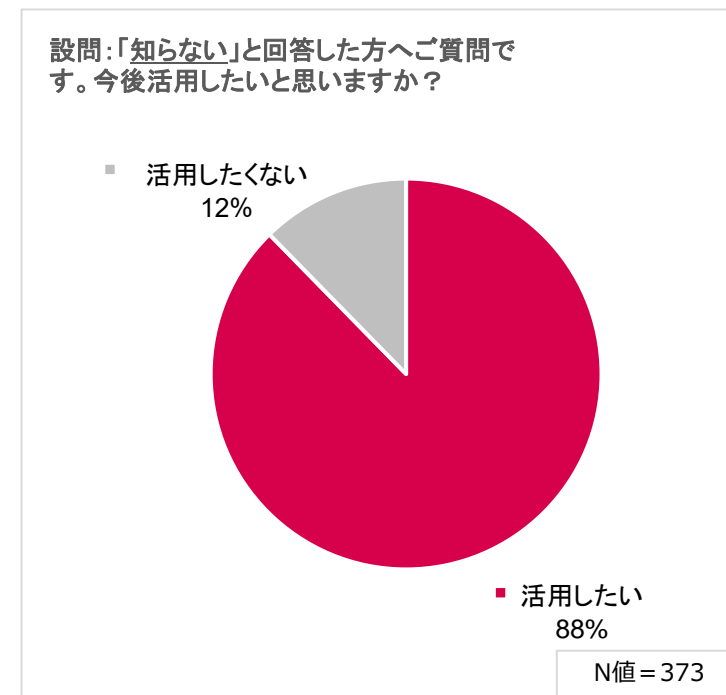
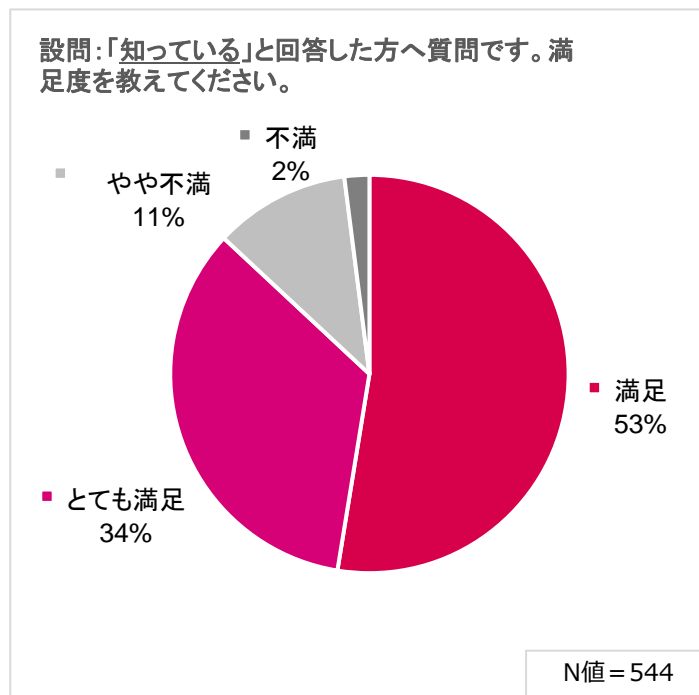
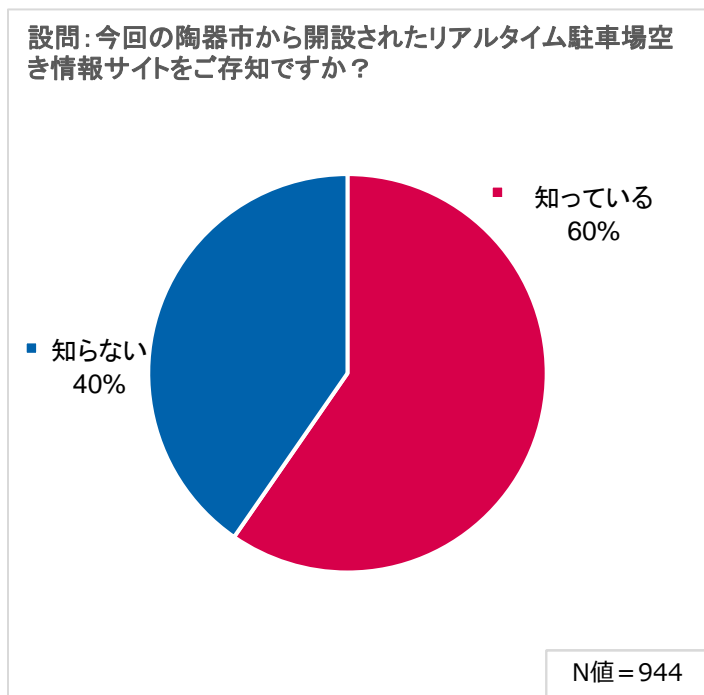
- ・ 駐車場料金が上がった (79名)
- ・ 会場に近い駐車場は早い時間に行かないとすぐに満車になってしまう (47名)
- ・ 駐車場から会場までの案内の矢印などがもう少し欲しい (12名)

不満 (5%)

- ・ 駐車場料金が上がった (28名)

2-11-1 リアルタイム駐車場空き情報サイトの満足度

リアルタイム駐車場空き情報サイトを「知っている」が60%、「知らない」が40%。「知っている」方のサイト満足度は「とても満足」「満足」で87%を占める。また、「知らない」と回答した方の88%が今後活用したいと回答している。



2-11-2 リアルタイム駐車場空き情報サイトアクセス数

閲覧数(期間合計)、参照元別閲覧数の結果

閲覧数_期間合計

視聴回数 1,209,580

参照元別_閲覧数

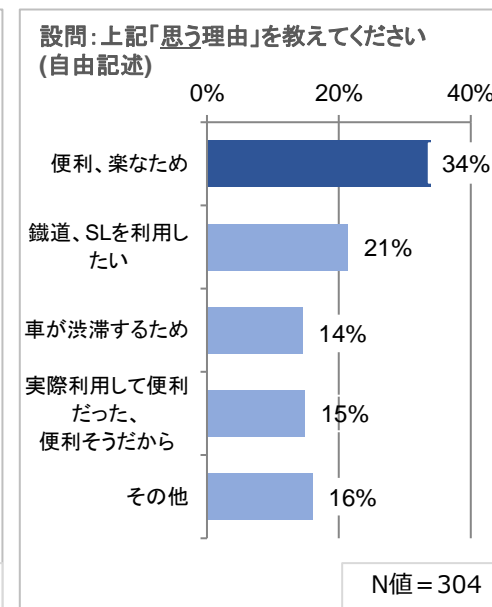
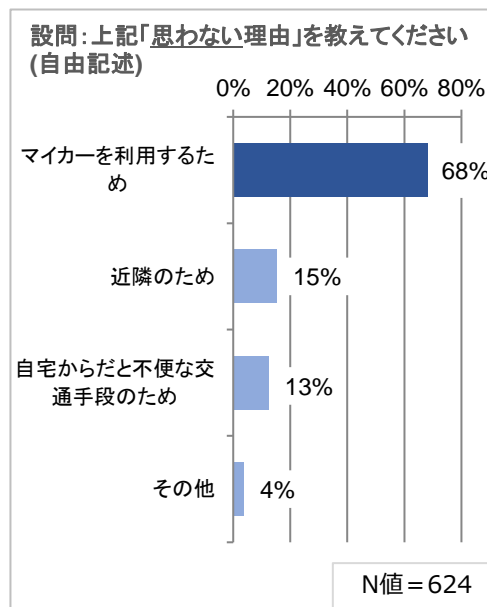
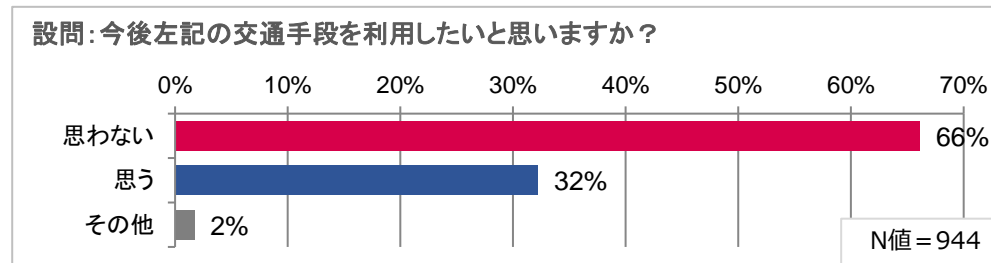
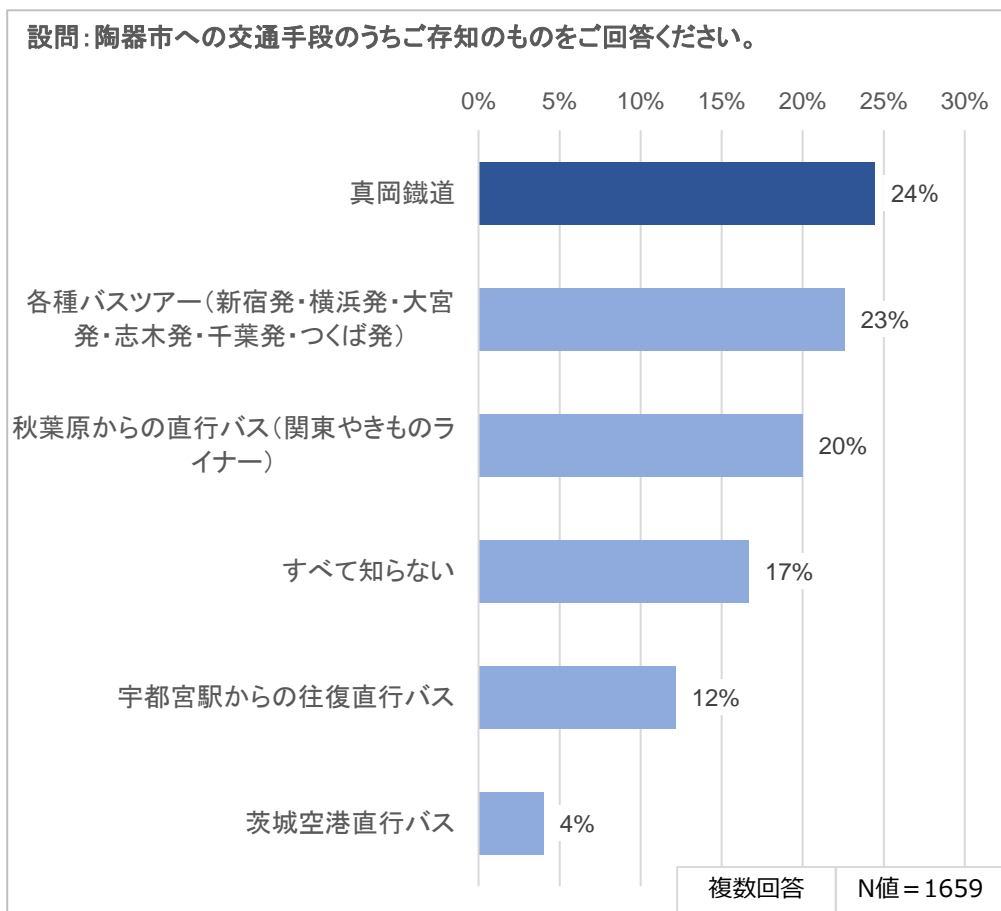
	ユーザーの参照元	視聴回数 ▾
1.	toukiichi.mashiko-db.net	687,152
2.	l.instagram.com	395,860
3.	(direct)	102,299
4.	instagram.com	11,197

結果概要

- ・春の陶器市（10日間）におけるサイト閲覧数は約120万。
- ・サイトへの動線としては、陶器市専用サイトからのアクセスが約60%、Instagramからのアクセスが約30%、ダイレクト（Google等で検索して直接サイトにアクセス）が約10%。
- ・2-11内で示した通り、サイトを知らなかった方が40%おり（春の陶器市直前までサイトが完成せず、周知期間が不足していた点などが原因）、秋の陶器市に向けてさらなる周知余地がある。

2-12 公共交通機関の認知と利用ニーズ

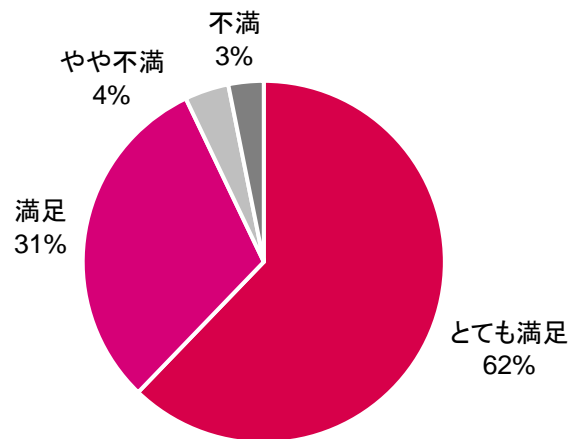
「真岡鐵道」「バスツアー」「直行バス」など何らかの公共交通機関の存在を認知している割合は非常に高い（「すべて知らない」は17%に留まる）。
利用意向に関しては、利用したいが32%、利用したいと思わないが66%となっている。



2-13 シャトルバスの満足度

田野小・中学校発シャトルバス利用者の満足度は、「とても満足」「満足」が93%を占める。
また、次回以降もシャトルバスを実施した場合、利用したいと思う方が86%を占める。

設問: 田野小・中学校発シャトルバス利用者のみへのご質問です。
シャトルバスに関する満足度をお聞かせください。

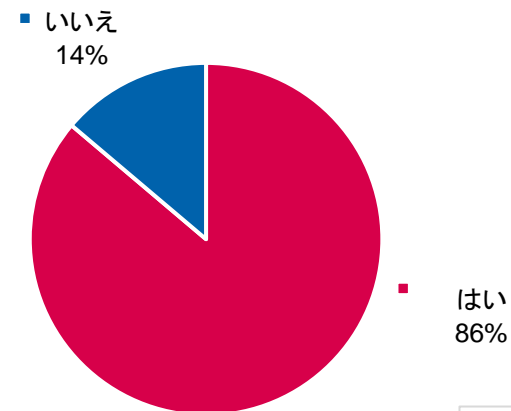


N値 = 127

やや不満・不満の理由(9名)

- ・シャトルバスの存在を知らなかった
- ・4/29までで終了していた 等

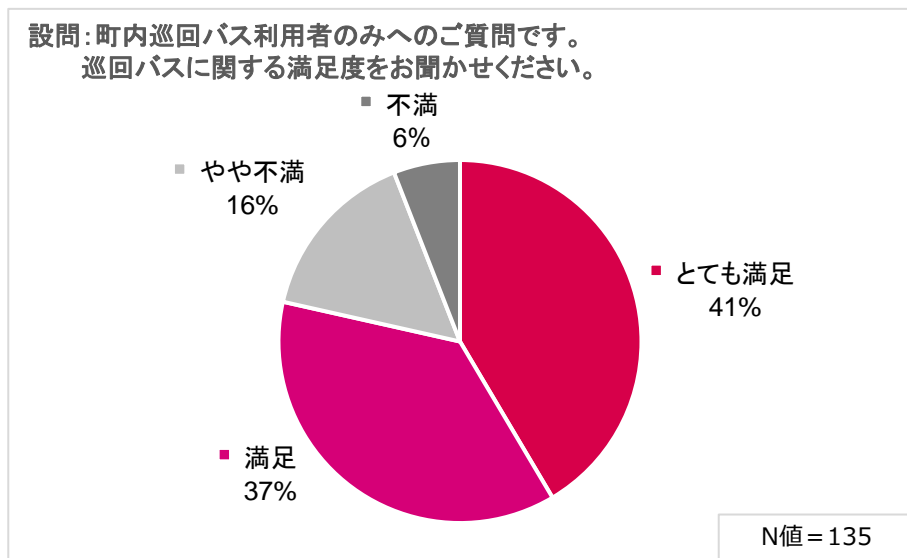
設問: 田野小・中学校発シャトルバス利用者のみへのご質問です。
次回以降もシャトルバスを実施した場合、利用したいと思いますか？



N値 = 123

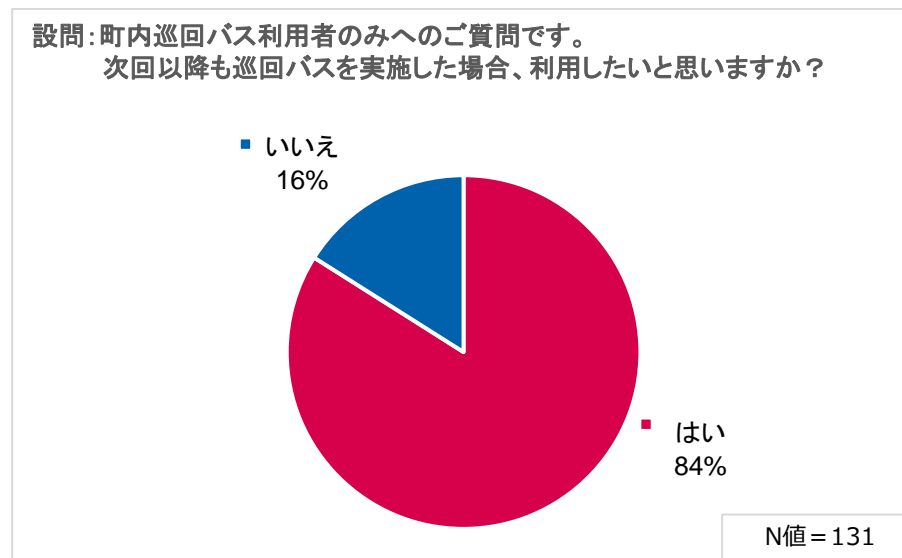
2-14 町内巡回バスの満足度

町内巡回バスの利用者の満足度は、「とても満足」「満足」が78%を占める。
また、次回以降も巡回バスを実施した場合、利用したいと思う方が84%を占める。



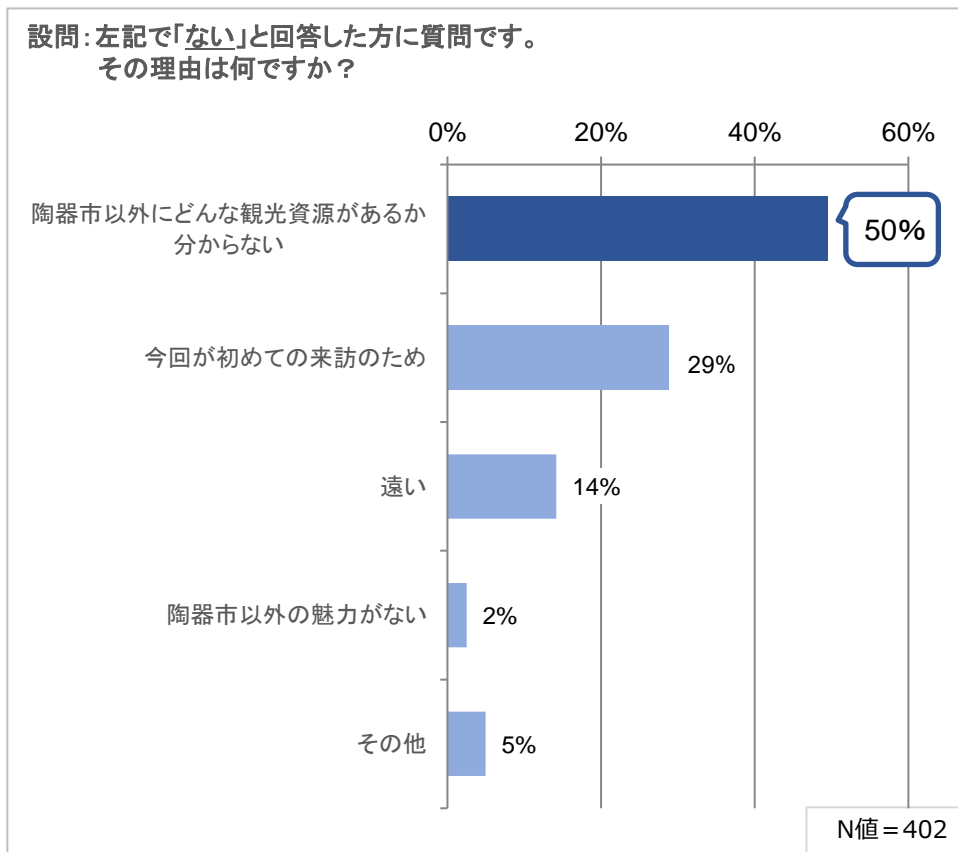
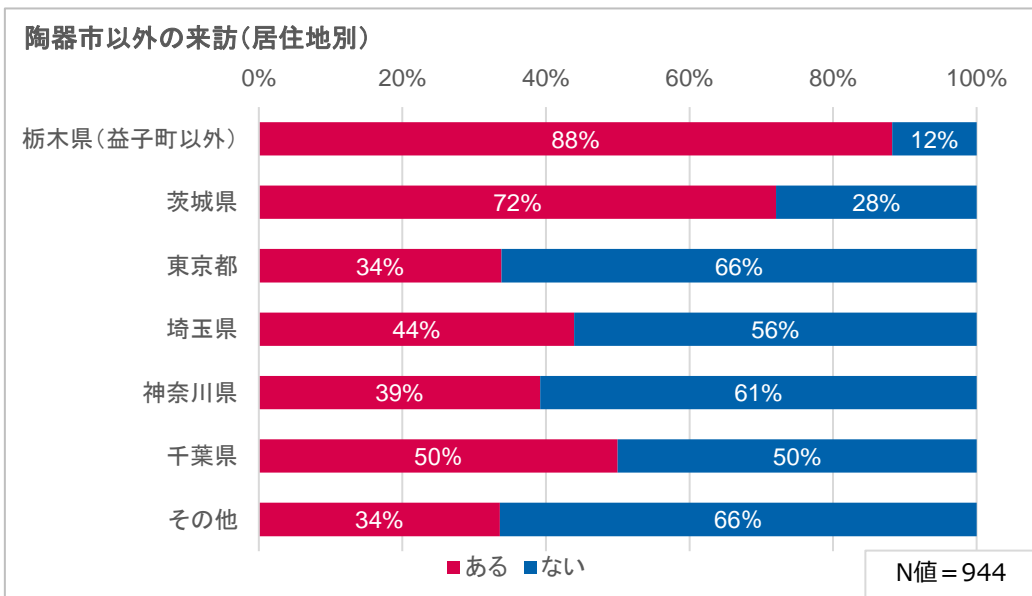
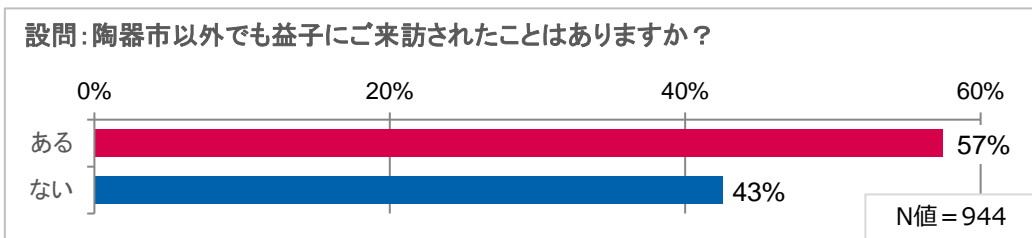
やや不満・不満の理由(29名)

- ・時刻表がわからない
- ・バス停がどこか分からない
- ・待ち時間が長い 等



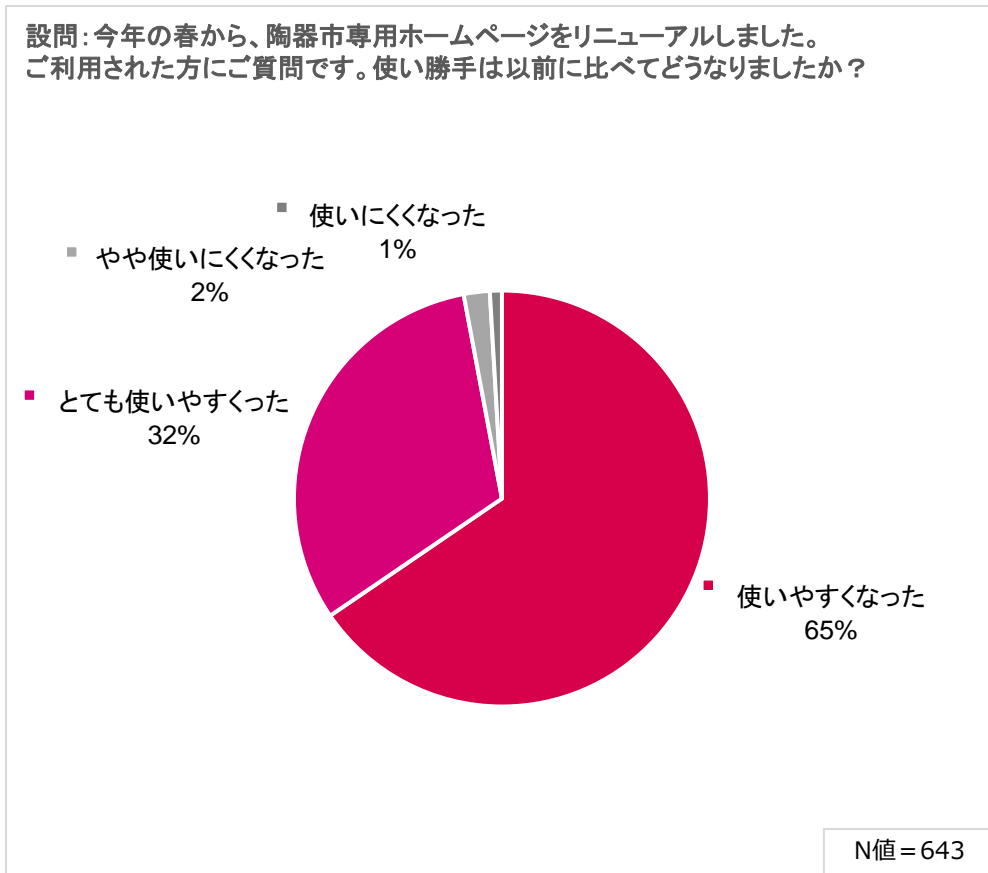
2-15 陶器市以外に益子に訪問したことがあるか

陶器市以外で益子に來訪したことがない割合が43%にのぼる。
またその理由として50%の方が「陶器市以外にどんな観光資源があるか分からない」を挙げている。



2-16-1 陶器市専用ホームページリニューアルの感想

春からリニューアルした陶器市専用ホームページについて、「使いやすくなった」「とても使いやすくなった」という意見が97%を占めた。



改修した陶器市HPへの感想やご要望があれば教えてください

- ・見やすくて、好きな作家さんの名前を入れるだけで場所がわかって大変助かりました。
- ・トップに駐車場空き情報のバナーがあるのはとても便利だと思います。
- ・どこにどの作家がいるのか、紙媒体よりもスマホで見の方がわかりやすくて、とてもよかったです。
- ・情報が盛りだくさんでいいですね
- ・駐車場情報やLIVE情報は、いく前から眺めて楽しむことができました。
- ・交差点の定点カメラの映像は人の混み具合がわかって良かったです。
- ・来場者予想みたいなのがあると行きやすい。例えば去年の初日は何人だったとか。
- ・窯元名から場所を検索できれば便利です。
- ・日々更新してもらえると、もっと見に行くとおもいます。
- ・陶器市マップを拡大すると文字がボケるので、直してほしい。
- ・陶器市マップと出店者情報がリンクできるといいなと思います。
- ・陶器市の最中は電波が良くないのでダウンロード出来たら良いかも。
- ・店ごとの紹介をもう少し詳しくして欲しいです。
- ・地図が簡潔なデザインにしすぎていてわかりにくいです。目印となる大きいたぬきでさえどこにあるのかわかりません。もっと拡大したときの細かいマップが欲しいなと思いました。
- ・なかなか、ホームページって見に行かなくなったので、インスタとかSNSの情報を充実してほしい
- ・お気に入りができるとうい 等

2-16-2 陶器市専用ホームページリニューアル後のアクセス数

エンゲージのあったセッション数、エンゲージメント率の結果

		集計期間 (陶器市前17日間 + 陶器市期間)	陶器市期間	ユーザー数 ※1	セッション	エンゲージのあった セッション数 ※1	【平均】 エンゲージメント率 ※2	表示回数	イベント数
リニューアル 前	2023年第107回 春の陶器市	4/12-5/7 計26日間	4/29-5/7 計9日間 (土日祝日7日間、平日2日間)	84,555	121,473	84,443	69.52%	432,419	1,274,780
	2023年第108回 秋の陶器市	10/17-11/6 計21日間	11/3-11/6 計4日間 (土日祝日3日間、平日1日間)	66,936	99,497	67,711	68.05%	346,340	1,016,575
リニューアル後	2024年第109回 春の陶器市	4/10-5/6 計27日間	4/27-5/6 計10日間 (土日祝日7日間、平日3日間)	175,596	269,077	193,996	72.10%	982,739	2,970,786

※1 エンゲージのあったセッション数・・・10秒以上継続するか、コンバージョンイベントが発生するか、ページビューまたはスクリーンビューが2件以上発生したセッションの数

※2 エンゲージメント率・・・「エンゲージのあったセッション数」÷「セッション」

結果概要

- ・リニューアル前の2023春の陶器市時と比べ、アクセス数が倍以上になったと同時にエンゲージメント率（＝アクセスした後にはしっかりと内容を読んでもらったかどうかを示す指標）も改善している。
- ・これらの要因としては、リニューアルによってサイトが使いやすくなったことで、ユーザーの満足度が高まったためと考えられる。

2-17 陶器市全般の改善について（要望意見）

設問：陶器市全般において改善してほしいところがあれば教えてください。

- ・歩道が狭く危険。メイン道路は歩行者天国にしたほうがいい。交通整理係員がいるといい。バスしか通れないなどの制限を設けたらどうか。（81名）
- ・食事するお店の探し方がいまいちわかりにくかった。会場周辺の飲食店マップがあるとありがたいです。（60名）
- ・駐車場がわかりづらい。看板や旗などもう少し目印が欲しかった。（37名）
- ・トイレが少ない。簡易トイレの場所が分かりづらく迷ったのでもう少しわかりやすくしてほしいかった。おむつを変えるところがもっとあれば良いなと思った。（24名）
- ・キッズコーナーや子供の陶芸体験ブースがあると良い。父親と子どもが遊び、母親が買い物ができるような仕組みがあると良い。（6名）
- ・宿泊場所が増えるといい（4名）

【その他】

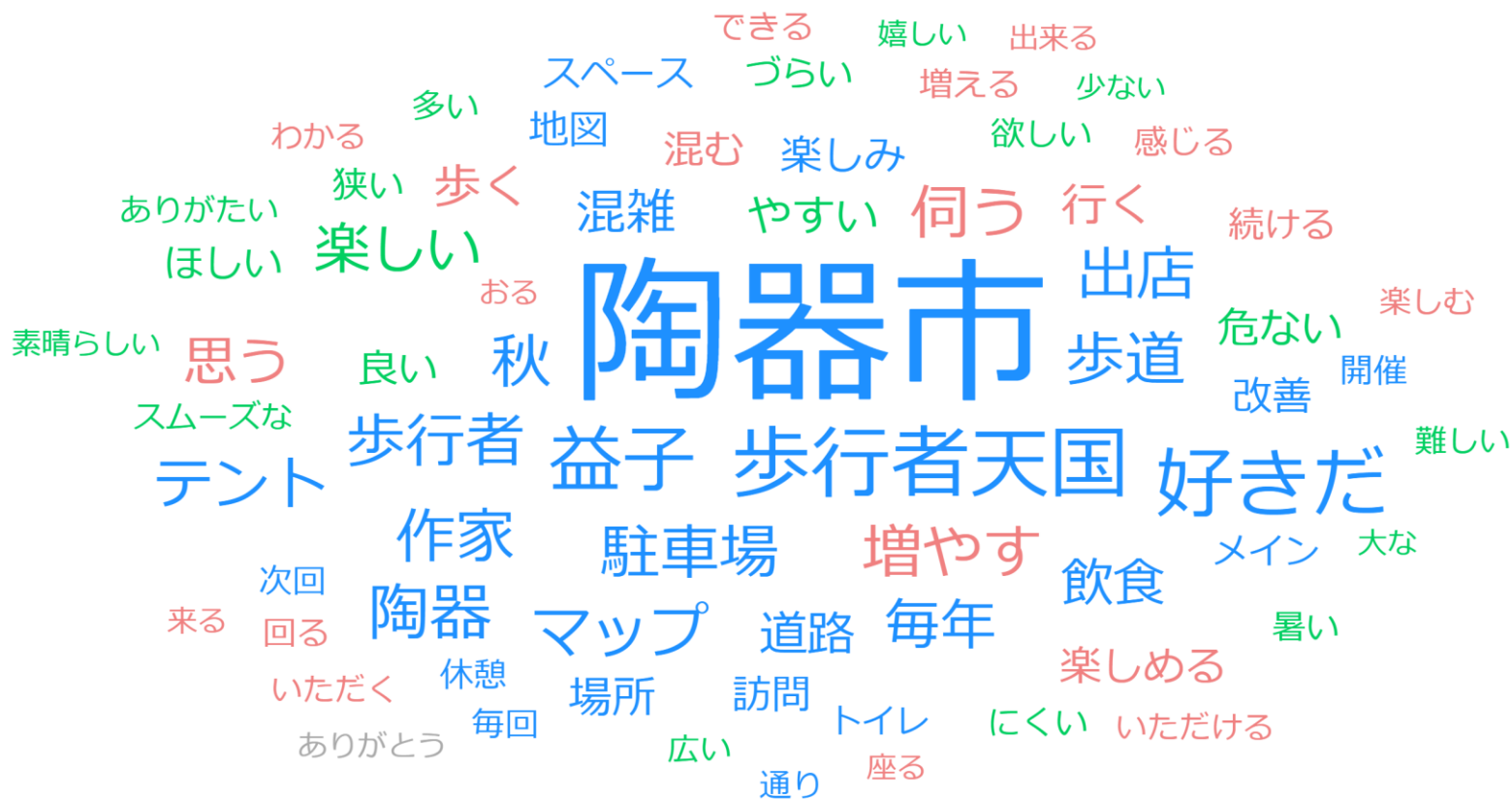
- ・改善は特に不要（73名）

設問：その他、陶器市に関して何かご意見がありましたら教えてくださいと幸いです。

- ・自宅で益子焼を使っていて、古くなったので今回新しく買い替えました。見ていてとても楽しく、毎年来たい気持ちになりました。出店や持ち込みのものを飲食できる休憩スペースがもう少したくさんあると嬉しいです。
- ・店舗数が想像以上でびっくりしました！運営もお疲れ様です！手の業を存分に用いられた作品を見ることができ、楽しかったです。活気ある雰囲気は今後も味わえることを楽しみにしています。
- ・コロナが開けて大変楽しく訪問出来て嬉しく思います。地元の学生さんたちも協力しての陶器市、素晴らしいですね。住んでみたい街です。これからも、引き続き参加させていただきます。
- ・独身時代から通っています。大好きです。子どもが出来て初めて来ましたが、もっと子どもフレンドリーになるとうれしいし、来やすいです。来場者には赤ちゃんもたくさんいます。未来の購入者であり、作り手かもしれません。
- ・インスタのリアルタイム状況など、いく前の数日とてもワクワクして見られました。エリアごとの入り口や周りかたとかわかるともっとよかったです！
- ・アンケート結果を今後見られるようにしてもらえたり こういう提案があってここを改善してみたなどの報告がみんなに見えるようにしてほしいです 大好きなので期待してます♥
- ・良い作品が購入出来たり、知ることが出来たのはとても良かったです。どこでどの作家さんのお店があるのかわからなかった。作家さんのインスタが情報源になっていました。オフィシャルとしてもう少し充実しての方が良いと思います。
- ・仕方無いのかもしれませんが、人気の作家さんは、整理券配布で、私のように一人で行く者にとっては、1箇所に2時間並んで整理券をGETする感じです。もっとスムーズにたくさんの作家の作品を購入したいです。
- ・毎年毎シーズン、楽しみにしています。益子の街も大好きです。開催する側はご苦労も多いかと思いますが、今後も通いたいと思います。

2-19 自由記述編 (テキストマイニングの結果)

自由記述の中で、キーワードの比重が重いものから大きく、中心に表示されるテキストマイニングの結果。
「歩行者天国」「好きだ」「駐車場」「マップ」などのキーワードが目立つ。



※スコアが高い単語を複数選び出し、その値に応じた大きさで図示しています。単語の色は品詞の種類で異なっており、青色が名詞、赤色が動詞、緑色が形容詞、灰色が感動詞を表しています。
※ユーザーローカル テキストマイニングツール(<https://textmining.userlocal.jp/>)による分析

3. アンケート調査から見える課題

全般課題

1

今春から駐車料金の値上げを実施したところではあるが、駐車場の満足度は「とても満足」「満足」が73%に及び、概ね高い評価となっている。
一方、「やや不満」「不満」と回答した方の理由として、値上がり起因する意見が多くみられたため、次回の陶器市でも引き続き利用者への駐車料金の周知をしていく必要がある。

2

城内坂通りにおける交通規制の要望が多いため、今後対応策を検討していく必要がある。

3

「陶器市には来訪しているが、それ以外で益子に来たことがない」という方が43%おり、その理由として半数が「陶器市以外にどんな観光資源があるか分からない」と答えている。
よって、陶器市期間において益子の観光資源を周知することで、陶器市期以外での集客・観光消費額向上につとめていく必要がある。

3-1-2. 課題③に対する取り組み

課題③「陶器市以外で来訪しない方への観光資源の周知」に向けたテスト的な取り組みとして、(一社)ましこラボにおいてInstagramのインフルエンサー3名(それぞれフォロワー5万人超)にヒアリングの上でコースを作成し陶器市時に配布。

配布3ヶ月後時点における3コースの合計閲覧数は128,700回に及んでおり、ニーズの高さが伺える。本取り組みを通じて得た知見を活かし、今後の陶器市においてさらなる観光資源周知の取り組みを進めていく。




陶器市以外の益子の魅力を知らないあなたへ

益子観光モデルコース集

【制作】一般社団法人ましこラボ

日帰り
古いものと新しいもの、調和から生まれる新たな益子旅

泊まり
益子のアートとセンスを感じる至福の時間

陶器市コース
やっぱり陶器市をもっと楽しみたい方へ

益子大好き
フォロワー5万人超のインフルエンサーが監修

sumire_sakuraskyさん
日々の食卓やお菓子作りを発信

ntr_128さん
旅の備忘録や日々の記録を発信

zenshiroh_zenzenさん
好きな物と心地よい暮らしを発信

3-2-1. アンケート調査から見える課題（オーバーツーリズム）

観光庁「オーバーツーリズムの未然防止・抑制による持続可能な観光推進補助事業」実施施策関連課題

1

田野小・中学校発のシャトルバスの利用者の満足度は「とても満足」「満足」が93%を占め、非常に高い。また、次回以降もシャトルバスを実施をした場合、利用したいと思う方も86%を占める。一方で、「存在を知らなかった」という意見が目立つことも踏まえ、周知策を強化していく必要がある。

2

町内巡回バスの利用者の満足度は、「とても満足」「満足」が78%を占め、次回以降も利用したいと思う方が84%を占める。一方で、時刻表や待ち時間への不満が目立つことを踏まえた対策を強化する必要がある。

3

今春からサービスの提供を開始したリアルタイム駐車場空き情報サイトについて、周知期間が短かったこともあり、認知率は6割にとどまったものの、利用者満足度は非常に高く、期間中のアクセス数も120万を占めた。秋の陶器市に向けては、早めに陶器市HPやInstagramに掲載するなどしてさらなる周知・利用促進に繋げる必要がある。

4

陶器市後に新聞記事で渋滞緩和が取り上げられるなど（次ページ参照）、オーバーツーリズム対策事業は一定の効果に繋がったと言える。秋の陶器市においては、上記の課題に対応しながら、一層の取り組みの強化に繋げていく必要がある。

